

＜中部版スクラム教育事業＞ 令和8年度 研究推進担当者研修会

【日 時】 令和8年4月3日（金）

【対象者】 研究推進担当者

【ねらい】 研究推進の重要なポイントを学び自校の年間計画に活かすとともに、各校の担当者同士が今後も連携していけるつながりをつくる。

【内 容】 ○年間を通して研究推進のサイクルを回していく上でのポイント

○事例発表：倉吉市教育委員会学校教育課 森田指導主事

（前・倉吉市立西中学校 研究主任）

- ・全職員を巻き込みながら研究を動かし続けた取組の具体
- ・目指す生徒像の明確化・具体化
- ・授業レベルに落とし込み生徒の姿、変容を見取るシステム 等

○協議：自校の研究推進に活かすための情報共有等



【参加者の振り返りより】

- ◆先生方が一丸となって、同じ方向を向いて研究を進められるように、自分がそのつなぎ役として取り組んでいきたい。細く長く、途切れないように、まずはできることからやってみたいと思った。
- ◆「授業で生徒指導」。これを常に意識しながら、毎日の授業を大切にして取り組んでいこうと思った。授業が楽しい、わかる、全員が参加できるような授業を目指して取り組んでいこうと思った。
- ◆倉吉西中学校の取組から、主題設定をする際の留意点や他の先生方を巻き込んでいく工夫等を学べた。また、研究は点と点を繋いでいくものというお話が強く印象に残った。どうしても研究＝授業研となってしまう実態があるので、授業研という点と日々の授業、そして次の授業研とを繋いでいくことが研究推進担当の役目だという意識を持ち続けたい。
- ◆初めての研究主任を任されて不安なことが多かったが、今日の研修会で、自分が研究主任として何をしていけばよいのかが明確になった。まずは、自分が研究を「楽しみ」、研究することの「楽しさ」を全職員に広げていきたい。